

# 秋祭り



9月10日(土)に高森荘秋祭りを開催させていただきました。この時期に台風がいくつも発生し、ずっと雨続きでしたが、毎年秋祭りの日は晴れるというジンクスとおり、最高の秋晴れの中で行うことが出来ました。

オープニングでは、中塚毅さんにスペシャルゲストとしてお越しいただき、在職中に利用者の方と一緒に作った高森荘応援歌「はばたこうよ、あの空へ」を利用者全員と一緒に歌ってくれました。特に作詞をした利用者さんは、前に出て並んで歌うことができ、とても感動して喜んでいました。今年の職員のステージ発表

は、ジャンプWestの「ズンドコパグアイス」の曲に合わせてのダンスでした。ダンスの経験も無い実行委員でしたが、仕事終わりに一生懸命練習した甲斐あって、お祭りに相応しい元気づけのダンスで会場をあたためることが出来ました。それから信州プロレスの皆様には大人から子供までが声を出して笑える闘いを見せて頂け、下伊那農業高校の吹奏楽班の皆様にも心温まる音楽に触れさせて頂け、会場は大盛況でした。

外は少し暑いぐらいの気温になりましたが、たこ焼き、クレープ、ポテトチップスや綿あめを美味しく頂け、射的やヨーヨー釣りのゲームコーナーでも、たくさん子どもたちがワイワイと楽しむことが出来ました。

最後になりますが、秋祭りを一緒に盛り上げて下さった多くの皆様、ご来場して下さいました皆様、本当にありがとうございました。そして、日頃から高森荘を

## 社会にはばたけるように

高森荘で長年歌いつがれている「はばたこうよあの空へ」という一つの曲があります。行事等で定期的に歌っておられ、高森荘の利用者さんは全員歌うことが出来る曲です。先日、秋祭りで歌った際に来賓の方から「歌詞に感動した」「すばらしい曲でした」と絶賛を受けました。

そこで今回は、歌詞を担当した古田 光(ふるた あきら)さんにお話をお聴きしました。

**Q** 秋祭りでも歌詞に感動したという声がありました。歌が出来た当初の経緯を教えてください。

**A** あのね、高森荘に昔コーラスクラブがあって、みんなオリジナルの曲を作ろうって話になって、僕に詩を書いてほしいと依頼がきたんだよね。この歌に込めた想いを聞かせて下さい。

**A** あの頃は、体系移行前の授産施設の頃で、高森荘に来た

## 誤嚥(ゴハイン)防止委員会

9月28日(水)下伊那赤十字病院より摂食嚥下障害看護認定看護師の石原佳代子講師と、作業療法士の山下圭一講師による「自分でできる!! 誤嚥窒息予防」と題し、入所利用者、職員を対象に講演が行われました。

これは、誤嚥防止委員会の主催によるもので、昨年に引き続き、2回目となります。高森荘では利用者さんの高齢化に伴い、誤嚥窒息は深刻になりつつあります。



まずは、誤嚥・窒息について理解を深めていただき、自分でできることは何か、知っていただくことがねらいでした。主に、嚥下に関与する筋肉を和らげる体操や、食事の姿勢、食べ方など資料を元に楽しく、解りやすく説明していただきました。



委員を中心に、入所利用者さんに対し、年2回飲水嚥下能力テストを行い、3段階のレベルに分け食事の形態、食堂の配置、嚥下体操への取り組み等を行っています。また、リスクの高い利用者さんに対しては日赤病院の「嚥下治療入院プログラム」を利用し、治療を兼ねて的確なアドバイスを専門職から受け、個別支援計画の一環として利用者さんに支援を行っています。

## 商工会女性部 ボランティア活動

高森町商工会女性部の皆様による、ボランティア活動が行われました。毎年行われている活動で、園内の窓周辺の環境整備を行って頂きました。

21名の方に参加して頂き、普段職員の目が届かない場所まで丁寧に清掃して頂き、とても綺麗になりました。今後、清潔で心地よい施設環境が維持出来るようにしていきたいと感じました。

## 530運動

職員利用者さん38名で3グループに分かれて国道側道のゴミ拾いを行いました。社会貢献の一環として短時間ではありましたが、一生懸命道に落ちているゴミ拾いをして、地域の環境美化に努めました。

## 生産活動

毎日、8時30分を過ぎると作業室前の廊下には、生産活動の始まりを待つ利用者さんが並びます。高年齢や障がいの重度化に伴い作業への対応力が低下していますが、利用者さんの意欲は、まだまだ健在です。

作業収入は、昨年度に比べわずかながら減少傾向ですが、主力の製函と組子の受注量は、安定しております。今後、各企業のニーズに合わせるのももちろんのこと、各利用者さんの希望する個別支援に込められる生産活動でありたいと思っております。

## 栄養係の想い



高森荘では、配食サービス「ゆうげ」というお弁当を作っています。お弁当は管理栄養士が考えた献立で、栄養バランスも整っています。お弁当を作る事で一人暮らしをしている利用者さんの生活の手助けに少しでもなれば良いなと考えています。

栄養満点でおいしいと感じてもらえるようなお弁当を作り、利用者さんに喜んでもらえたらうれしいです。

高森荘応援歌  
はばたこうよ あの空へ  
作詞 Aki 作曲 T. NAKATSUKA  
採譜 佐々木昌

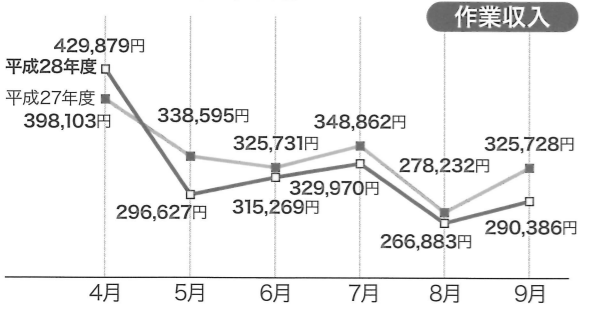
コード=ギターカポ4Key in C

一、川を渡る春風が 早稲をやさしく揺らして われらが無う高森荘 明るい太陽照らして  
ふるさとをはなれて 来たけれど 黄金の波に思い出す 流れ流れて雲いづこ 涙がホロリこぼれそう  
好んで買ったわけじゃない 自由に動かぬこの身でも あきらめないで前を見て  
進出そうよ あの空へ 高森荘の港から

二、涙れる汗をぬぐうとき 働くよろこびかみしめる たとえわずかな程でも われらにとっては大変だ  
ひとひを待たせて貰うとき 友とのほら 花が咲く つらいことがあるとも ともに生きよう仲間だよ  
かこの無じや願われない 明日が来ること信じよう 冷たい風が吹こうとも  
はばたこうよ あの空へ 高森荘の港から

<http://achion.com/takamorishoh>

## 生産活動の現状報告 (上半期)~昨年との比較~



# With

利用者と共に

職員と共に

地域と共に

vol.36

2016.12/1



発行所 障害者支援施設 高森荘

〒399-3101 長野県下伊那郡高森町山吹4473-1  
TEL.0265-35-6811 FAX.0265-35-6812  
E-mail: 1356811@takamori.ne.jp

発行者 高森荘施設長 入野友宏

高森荘からの情報発信 ウィズ



育成会交流会

ある日の高森荘

## あふれる笑顔の中、 育成会交流会が行われました。

今年は「2ほんの木」という、大きな塀によって引き裂かれてしまった仲良しの木が、再会を目指し前向きに成長する。という絵本を題材に、大きなちぎり絵を作成。作品を通し、普段あまりかかわることが出来ない子供たちと楽しい時間を過ごすことが出来ました。

当日は地域の子供たち40名、地元中学校のボランティア40名、計80名が高森荘に来園。例年になくとてもにぎやかな交流会となりました。

交流会で作成した作品は中学校の文化祭や、地元のお祭りでも展示していただき、多くの方に見て頂きました。

育成会の皆さん、中学生の皆さん、本当にありがとうございました。



平成28年8月3日  
育成会交流会  
地域の子供たち40名  
中学生ボランティア40名と作成



北小音楽会



飯伊障がい者スポーツ大会



出張スポーツ教室



総合防災訓練



双葉会交流会



民生児童委員交流会

## 2016年6月~11月 行事

紙面の写真・氏名については、利用者、ご家族、職員の同意を得て掲載しております。

530運動 6/1

飯伊障がい者スポーツ大会 6/4

双葉会交流会 6/29

7/1 北小音楽会

7/25 夏季火災避難訓練

育成会交流会 8/3

民生児童委員交流会 8/4

9/10 秋祭り

9/27 鈴木敏美カラオケショー

10/20 出張スポーツ教室  
10/24 総合防災訓練



530運動



民生児童委員交流会



鈴木敏美カラオケショー

## フレッシュ☆アイ

～職員の声～

高森荘で働いていていつも思うのは利用者の皆さんが元気なこと。朝、玄関を入ると元気な挨拶が聞こえてきます。その元気の元気が支えられて僕は毎日仕事が出来ています。

作業室で作業をしている利用者さんの姿を見ていると、皆さん真剣に仕事に集中していても輝いて見えます。僕も皆さんと一緒に作業をやらせて頂くと優しく教えて下さり、とても分かりやすく教えてくれます。

作業以外にも、食事介助や入浴介助にも携わっています。入職して初めて食事介助をさせてもらった時はとても怖かった事を覚えています。介助している手が震えていてうまく介助できませんでした。それでも経験を積んでいくうちにだんだん慣れてきましたが今でも怖いんです。介護の仕事をしてから改めて食事介助は楽しいだけではなく命の危険がある事も知りました。

介護の仕事をしていて思うのは、こんな自分でも誰かの手助けが出来ているかいつも不安に思います。それでも、この仕事を続けられているのは僕を頼ってくれる利用者の皆さんがいてくれるからだと思えます。僕がしてあげられる事は少ないかもしれませんが、利用者さんに「ありがとう」と言われた時にこの仕事をしてよかったと思えます。これからも利用者さんの傍に寄り添って仕事をしていけたらと思います。何年かかるとは分かりませんが介護の仕事をしている自分自身を誇りに思えるように日々頑張っていきます。

ボランティア受け入れ

7月6日  
高森町商工会女性部  
(施設内環境整備)

実習・研修の受け入れ

8月10日  
義務教育研修機関初任者研修  
30名

10月14日  
緑ヶ丘中学校福祉体験学習  
7名

10月19日  
旭ヶ丘中学校福祉体験学習  
3名

11月7日  
松本短期大学  
2名

## 編集後記

師走を迎え朝晩の寒さもさらに厳しくなり、本格的な冬の訪れを感じる頃となりました。そんな中、体調を崩しやすいこの時期に流行し始めるのがインフルエンザ等の感染症です。

高森荘では、毎年感染対策としてインフルエンザの予防接種を行っています。さらには自分自身の体調管理を意識し、健康を心がける事が大切だと感じます。利用者さん、職員ともに冬本番の寒さに負けず元気で有意義な毎日を過ごしたいです。

